

令和2年11月17日

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのあらためてのお願い

11月に入って、気候の寒冷化や乾燥化もあるためか、北海道や東京、大阪ではPCR検査陽性者数が著しい増大傾向を示しています。教養学部においても、先週末以来、学外で行われた課外活動の際に発生したとみられる複数のPCR検査陽性者の事例が報告されました。¹

今回のケースは、音楽系サークルの学生（他大学の学生を含む）が、スタジオで練習している際に発生したものです。ボーカルの学生が一時的にマスクを外して練習しただけで、同じ部屋の学生の多くが感染した模様です。おそらく当事者は、「このぐらいなら大丈夫だろう」と考えて行動したのだろうと思いますが、新型コロナウイルスは人間の気持ちや都合には一切容赦の無い病原体ですので、残念ながらウイルスの標的になってしまったようです。（陽性者を出したサークルの属性について明らかにしたのは、具体的な事例を通じて皆さんに問題点を認識してほしかったためです。言うまでもないことですが、当該サークルを詮索したり糾弾したりするようなことはしないでください。）

このようなこともあり、本日は、今後皆さんが安全にキャンパス内で活動を続けていくために、重要なメッセージをお伝えしたいと思います。とくに、今週末はオンラインで駒場祭が開催されることから、その準備のためにキャンパス内外で一緒に過ごす時間が増えている学生の皆さんもいると思われるので、是非気を引き締めてこのメッセージを受け止めて頂きたいと思います。

まず、どういう状況でクラスターが発生するかです。本学内ではまだクラスター発生は起きておりませんが、他所でのこれまでのクラスター発生事例を分析すると、下記のような具体的な行動パターンが感染拡大をととも引き起こしやすいことがわかってきました。

- ・複数の人間が、カラオケ・ライブハウスなどでの歌唱、演劇などの舞台、スポーツ活動などに集い、誰かがマスクを外して（口元のみを覆うマウ

¹ 今回のPCR陽性者および濃厚接触者については現在宿泊施設等で隔離中あるいは自宅待機中であり、キャンパスへの立ち入りはありません。

スシールドは飛沫防止にあまり効果がありません）大きな声を出す状況

- ・上記の場合、とくに防音設備などがある気密性の高い空間（換気の悪いスタジオ、劇場、カラオケルーム、居酒屋、バーやクラブなど）が危険
- ・上記に、マスクを外して飲み物を飲んだり、ものを食べたりする状況が加わるとさらに危険
- ・心理面からは、会食や飲酒、遊興時、スポーツ練習中などについて気が緩み、人と人が密着したり、大声を出したりする傾向が強まる

このように具体的な問題事例がわかってきましたので、「3密を避ける」という抽象的な表現から一步踏み込んで、皆さんに上記のような状況を避けるように強く要請したいと思います。おそらく、これらを回避できるだけで、相当リスクを軽減できるはずです。

もちろん、3密を避けつつ、マスク着用、手指の洗浄・消毒を欠かさず行い、健康状態を記録・報告するという基本的なことは守って下さい。

駒場キャンパスに入構する際には、入構申請サイトでの申請や書面の提出により滞在場所や健康状態を毎回報告することとなっています。また、本キャンパスに入構する関係者は、接触者確認用のCOCOAアプリをスマートフォンにインストールし、Bluetooth信号をONにすることも求められています（COCOAを使えない、あるいは使いたくない人は別の方法で行動記録を残してください）。感染者が発生した場合、これらの仕組みがあるために、濃厚接触者の特定や関係者の早期検査や自宅待機などの対応が迅速に行えるようになっています。

学生や教職員の皆さんは、必ずCOCOAアプリなどによる接触確認が可能な状態で、入構申請サイトなどで正確に報告してから入構するようになしてください。教職員であっても、申請なしで入構してよいとは考えないでください。また、感染が少しでも疑われる状況があれば、隠さずに一刻も早く感染報告フォームに入力してください。

新型コロナウイルスに感染した若者は、ほとんどが軽症か無症状で、基礎疾患

などが無い限り、命の危険性についての心配はほぼ不要です。しかし、だからといって感染防御を怠り、結果的により重症化リスクの高いご家族や友人、友人のご家族や、教職員にウイルスを拡散するようなことがあってはならないのです。

学生の皆さんには、楽しい学生生活を謳歌しつつも、社会の一員・大人の一人としての自覚を持って頂きたいと思います。教職員の皆さんには、安心して働いていただく環境を維持できるようご協力頂きたく思います。そのために、くれぐれも感染しないよう、また感染を拡大しないようお互いに注意して頂くようお願いいたします。

総合文化研究科長・教養学部長 太田 邦史